アドヒアランス、プラセボ、リスク、同意、共同意思決定

アドヒアランス
- 合意計画との一致
- 費用、負担、複雑さ、目標不一致で失敗
- 非アドヒアランスの呼称は性格判断に
- 開始、実施、持続
- 補充は所持、容器は開封を示す
  - 自己報告は安全な開示が前提
- 非意図的：失念、巧緻障害、アクセス
- 意図的：副作用、不信、合理的選好
  - 両者は時間とともに重なる
- 飲み忘れ頻度を正常化して尋ねる

リスク説明
- 結果、集団、期間、比較対象を定める
- 相対リスクと絶対リスク差
- 必要数は絶対差の逆数
  - 基礎リスクで変わり固定でない
- 自然頻度は条件付き確率を明瞭に
- 分母を一貫させる
- アイコン配列の設計が知覚へ影響
- 言語ラベルには数値を添える
- 枠付け：生存表現は好ましく感じる
  - 利益を相対、害を絶対で示さない
- 精度は証拠へ合わせる

意思決定能力
- 特定の判断と時点に依存
- 理解、認識、推論、意思表明
- 診断、年齢、異論だけで決まらない
- せん妄、疼痛、恐怖、薬物で変動
- 支援と可逆性障害治療を先に
- 重大な判断ほど閾値を厳しく
  - 同意する者だけの能力でない
- 代理人は本人価値、なければ最善利益
- 制限は必要以上に広く長くしない

説明同意と緊急
- 開示、理解、自発性、能力
- 署名書は過程の証拠で過程でない
- 重要情報：目的、利益、リスク、代替
  - 合理的人の関心と本人の懸念
- 同意は撤回でき他介入へ及ばない
- 緊急例外は狭い
  - 便宜や時間圧は緊急でない
- 事前指示は自律を保つ
- 臨床、倫理、法的問いを分ける

投与設計
- 投与設計自体が臨床介入
- 頻度減少、安定日課、不要薬除去
- 操作可能な包装、供給、飲み忘れ時対応
- リマインダーは記憶を助け費用は直さない
- 監視を懲罰的にしない
- 最小負担で確実な利益

プラセボとノセボ
- 意味、期待、学習、治療文脈
- 主観症状、自律機能、内分泌を変える
  - 疾患が想像上という意味でない
- 試験のプラセボ反応はより広い
  - 自然変化、平均への回帰
- 否定的期待によるノセボ
- 頻度と重症度を中立に、取るべき行動
- 影響割合と非影響割合の両方
- オープンラベル・プラセボは条件特異的
  - 欺瞞は信頼と有効同意を損なう
- 倫理的な文脈治癒
  - 明瞭な根拠、比例した確信、追跡

共同意思決定
- 認識、交換、熟慮、合意または延期
- 転帰が似て負担が異なると重要
- 案内なしのメニュー提示でない
- 臨床家：選択と証拠
- 患者：価値、生活事情、交換条件
- 時間切迫の判断では形が違う
- 強い推奨は自律と両立し得る
  - 理由明瞭、拒否を罰しない
- 利用できない選択は負担移転
- 意思決定支援は会話を置換しない
  - 最新証拠、利益相反、更新日

信頼と統合的方法
- 信頼は判断の入力で結果
- 能力、誠実、確実性、配慮
- 信頼に値する実践は質問を歓迎
- 不当処遇があれば懐疑は合理的
  - 行動変化と説明可能な制度で再建
- 判断とその後の行動を定義
- 理解、価値、制約、希望役割を引き出す
- 絶対リスクと比例した推奨
- 転帰を追い選択を再検討